

将来、長浜市をどのような「まち」にしていけるのか、そのためにどのようなことをしていけるのかを総合的・計画的にまとめたものです。

また、各分野別の計画を総合的に調整しながら、市の施策全体を体系化し、進捗・達成状況の管理を行う市の最も基本

総合計画とは

この度、市民目線からの示唆に富んだアイデアを盛り込み、総合計画新基本構想（案）を取りまとめましたので、皆さんのご意見をお聞かせください。

それは10年後の皆さん一人ひとりの姿に他なりません。誰もが既存の価値観を超えた新たな感性でまちづくりに挑戦し、未来を創造する。そして、「長浜で暮らして良かった」と思えるまちでありたい。

策定にあたっては、行政の視点だけにかたよることなく、「長浜まちづくり100人委員会」や「長浜の未来を創るまちづくり市民懇話会」など、地域で活動している様々な立場の人からご意見を伺っています。10年後の「長浜」の姿。

総合計画の策定を進めています。

10年後の自分を想像してください。

あなたは、輝いているでしょうか。

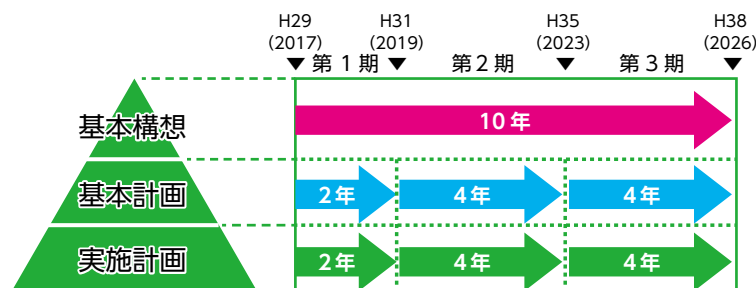
「長浜で暮らし、学び、働く人々が、それぞれ夢と希望を抱きながら力を発揮できる」、そんなまちを目指して、市では、10年、20年先を見据えた新たな「長浜市総合計画」の策定を進めています。

となる計画です。

さらに、健やかで幸せな未来を実現するための長期的な展望を示すもので、行政だけでなく、皆さんのまちづくりの指針ともなるものです。

総合計画の構成

総合計画は、まちづくりにおいて目指す将来都市像とその理念を示し、実現のための政策を示す「基本構想」、その実現に向けた施策とその目標を体系的に定める「基本計画」、具体的な事業を示し、その進捗管理を行う「実施計画」の3つの階層から構成されます。



今回、市民懇話会に参加させていただき、各界で活躍されている方々との交流から、今まで知らなかった長浜のまちの魅力や、10年後の長浜市について、改めて考えるよい機会をいただけたと感謝しています。

特に長浜市は今後人口の減少が大きな課題となっていくと見えます。解決のためには、行政と企業が手を取り合って協力していくこと、安心して子どもを産み育てられる医療、福祉の充実したまちづくり、そして、曳山まつりや琵琶湖など観光都市長浜の魅力を発信していくことが欠かせないと感じました。

私自身、3人の子どもの育てながら仕事をしています。子育てを一人で担いすぎて精神的に疲れてしまい、笑顔が出せない時は、行政の力も借りながら、元気を持って働き、魅力ある長浜市を作っていける一員でありたい。そう感じています。



居川 安子さん
(中小企業経営)

市民懇話会メンバーの思い



松井 善典さん
(浅井東診療所所長(医師))

多士済々のメンバーに緊張した初回が懐かしく思い出されます。5回に渡り10年後の長浜の姿について議論百出が繰り返されました。参加メンバー一人ひとりの長浜への情熱と愛情、それぞれの立場からの専門的な発言が刺激となって、気付けば郷土愛と未来への願いを私も口にしていきました。当初は地域医療や健康の専門家としての発言でしたが、徐々に地元の文化と歴史を愛する市民として、子育て中の父親としての提案をさせていただきました。

この計画は長浜の未来のための小さな種にしか過ぎず、これから土を耕し、水を撒き、光を注ぐという花々を咲かせるための不断の努力が欠かせないものと感じております。人口減少と多様化するライフスタイルという時代だからこそ、市民一人ひとりが危機感と期待感を持ち、計画に命を吹き込むための協働と参画のまちづくりが欠かせないことも実感した懇話会でした。



長浜市総合計画

Challenge & Creation



みんなの一步で創るまち

